

令和5年度

岩泉町立岩泉小学校報



しずがわ

令和5年度 第5号
令和5年 6月20日
文責 校長 吉田 浩規

さまざまな経験が一人一人の成長に

運動会も終わり、1学期のさまざまな教育活動が行われています。コロナ禍でこの数年できていなかった事業が数年ぶりに再開されるなど、外部の方をお招きしての学習や地域に出かけて行っている学習も積極的に行っています。最近の学習の様子をお伝えします。

プール清掃



12日(月)3～6年生と職員によるプール清掃が行われました。プールの壁や底をゴシゴシ磨き、汚れを落としました。

下水道出前講座(4年)



5日(月)県の下水道公社の方をお招きし、下水が処理される過程などをくわしく教えていただきました。

図書委員会による読み聞かせ



12日(月)は、6年生の委員が1～3年生の教室に向いての読み聞かせ。真剣な表情で聞いています。19日(月)には、5年生委員による読み聞かせが行われました。

消防パレード(5・6年)



18日(日)、5年ぶりに開催された消防演習。うれいら通りで行われた分列行進に5・6年の鼓笛隊が特別参加。団員の皆さんの行進に花を添えました。



学校の様子は、学校ブログでも紹介しています。



岩泉小学校 HP

PEP TALK! で、自己肯定感を高めよう②

「岩小さっぱの自己肯定感ってどうなっていますか？」

東京都教職員センターと慶應義塾大学が共同で開発した「自尊感情測定尺度」の実施結果は以下の通りです。（5月上旬実施：2年生以上対象）

【調査及び結果の見方について】

○各項目とも「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」等、4つの選択肢の中から1つを選ぶ形式。積極肯定を4点とし、回答に応じて点数化したもの。

○#の問いは反転項目(ネガティブに回答するほど高得点)。

○数値は、対象児童の得点の平均得点(最高4点、最低1点)

・3点以上が、全体としてポジティブな評価と判断)

・3点未満を網掛けで表示

自尊感情測定尺度調査集計結果（2～6年児童対象N=138）

No	自己有用感に関する設問	5月
2	人の意見を素直に聞くことができる	3.43
5	私は人のために力を尽くしたい	3.57
8	私はほかの人の気持ちになることができる	3.09
11	私には自分のことを理解してくれる人がいる	3.41
14	人に迷惑がかからないよう、いったん決めたことには責任を持って取り組む	3.30
17	自分のことを見守ってくれている周りの人々に感謝している	3.71
20	私には自分のことを必要としてくれる人がいる	3.28
No	自己信頼感・自己決定感に関する設問	5月
3	人と違っていても自分が正しいと思うことは主張できる	2.91
6	自分の中には様々な可能性がある	3.17
9	私は自分の判断や行動を信じることができる	2.99
12	私は自分の長所も短所もよくわかっている	3.35
15	私には誰にも負けないもの(こと)がある	2.96
18	私は自分のことは自分で決めたいと思う	3.40
21	私は自分の個性を大事にしたい	3.34
No	自尊感情・自己受容感・自己効力感に関する設問	5月
1	私は今の自分に満足している	2.91
4	私は自分のことが好きである	2.83
7	自分はダメな人間だと思ふことがある(#)	2.55
10	私は自分という存在を大切に思える	3.28
13	私は今の自分は嫌いだ(#)	2.81
16	自分には良いところがある	3.12
19	自分は誰の役にも立っていないと思う(#)	2.66
22	私は人と同じくらい価値のある人間である	3.34

自己有用感に関する項目は、すべて3点台。感謝の気持ちを強く持ち、人のために力を尽くしたいという傾向がうかがえます。

自己信頼感・自己決定感に関する項目は、3点未満の項目が半分ほどあります。自分の長所や短所はよく分かっていて、自分のことは自分で決めたいけれど、自分を信じ、自信をもって主張することにネガティブな評価をしていることがわかります。

自尊感情・自己受容感・自己効力感に関する項目は、3つの観点の中で、最も低い結果となりました。自分はダメな人間だと思ったり、役に立っていないとっていたりする児童が多く存在することがわかります。

【結果について】

本調査は、学校として独自に行ったものであり、他校との比較はできませんが、自己肯定感を支える要素のうち、自尊感情・自己受容感など、主に自分自身による評価の部分に課題があると捉えています。